



五十嵐 敏夫 議員

問 12歳以上のワクチン接種率約90%以上となったことは、町として大いなる評価に値しますが、12歳未満の子供への感染防止対策はどのように行うのか。

答 周りの大人が基本的な感染対策を守り、同時に子供が取り組める感染予防対策を実施することが必要。引き続き基本的な感染予防対策により環境整備や個人予防策を実施していく。



問 学校や保育所施設について細部にわたり定期的に消毒を行っているのか。

答 消毒、教室内の換気は適切に行っている。

問 学校、保育所での水道蛇口感染を防ぐためセンサー式を採用できないか。又、電気温水器など設置は。

答 センサー式の採用は今後学校の状況を確認しながら検討していく。電気温水器の設置については現時点では検討していない。



▲9月2日 感染防止用品配布の様子

問 町内事業者や町民への今後の支援策は。

答 事業者には休業協力支援金の支給や林産物出荷販売手数料3か月間無料化などを行い、町民へは、全世帯への感染予防対策用品・商品券配布や水道基本料3か月間減免などを行う。

問 指定管理事業者からのコロナ支援要望等はないのか。

答 指定管理事業者は定期的に状況を確認しており、要望等があれば担当課に伝え、できる限り支援をしている。



問 「日本小児学会」などで2歳は危険、3歳以上のマスクも強要しないとのガイドラインが出ているが保育所での対応は。

答 特に強制してマスクの着用は指導していない。

問 「抗原簡易キット」は配置されているのか。又、職員での対応はできるのか。

答 各学校にはすでに配置されているが、実際の活用方法は検討している段階である。

問 活力ある教育の推進は

答 教育と子育て環境の充実を目指す

問 放課後児童クラブを小学校や保育所と併設する考えはあるか、又、関地区で自由に利用できる公園設置の考えは。

答 現在ある施設の活用を図り、議論しながら運営をしていく。公園については保育所園庭開放時間に利用をしてほしい。



▲放課後児童クラブの様子

問 放課後児童クラブは現在開発センターを使用しているが、思いきり体を動かせるような施設が必要では。

答 現在、開発センターで開設しているが、施設のあり方や利用内容などを早期に検討したい。

問 新保育所建設計画の進捗と建設場所の選定は。

答 本年度は基本計画、R4年度に実施設計、R5年度に建築を予定している。

建設場所は現在地を中心に検討をしている。

問 建設の実施計画に入る前に保護者からの意見の聴取の考えはあるか。

答 実施設計ができる段階で保護者の意見も聞き安全性や快適性などへ参考にしたい。



▲関保育所



▲現在の町民プール

問 老朽化が進む町民プール改修や新設の考えは。

答 新設となれば管理が困難であり、コロナの影響も相まって廃止の方向となっている。

問 民間施設での水泳事業は移動時間に大半をとられ、水泳の時間が短縮されてしまうのでは。

答 移動時間の関係で活動時間は制限されるが、水に慣れ親しみ命を守る学習は確保できる。